

<p>留学生の日本語 (Japanese for Foreign Students)</p>	<p>3 年・通年・2 単位・必修 留学生・担当 中西 潔</p>	
<p>〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (3)</p>		
<p>〔教育方法等〕 概要： ① 日本語による会話を通して、聞く力、話す力を高める。 ② 教科書を用いて、様々な分野の文章を読み、日本語の文法力・語彙力・読解力を高める。 ③ 作文を通して、日本語による表現力を高める。また、日本語による思考力を高める。 ④ 日本語によるスピーチコンテストに参加し、自分の考えを日本語で発表する。 ⑤ 日本語能力検定試験を受験し、1 級または 2 級を取得する能力を育成する。</p> <p>授業の進め方と授業内容・方法： 教科書を用い、日本語の読解力を高める。音読を通して、発音・イントネーションを是正する。 教科書の本文を要約し、読解力を高めるとともに、漢字・ひらがな・カタカナを書く力を育成する。 教科書の本文に関する質問に、口述・筆記で答える。 会話を通して、聴解力・口述力を高める。 自分の思いや考えを日本語（口述・筆記）で表現する。</p> <p>注意点： 関連科目 すべての科目 学習指針 1 年間で日本の中学卒業程度、または、日本の学生と同等レベルの日本語運用能力を育成する。</p>		
<p>〔教科書〕 「高専留学生の日本語」国立奈良工業高等専門学校</p> <p>〔補助教材・参考書〕 「完全マスター日本語能力試験（漢字・文法・読解）」スリーエーネットワーク 「高校漢字必携」第一学習社 新聞記事</p>		
<p>〔到達目標〕 授業やレポート作成に支障のない日本語運用能力を付ける。 日本語による日常会話に支障が無くなる。 日本語の様々な文章を読むことができる。（論文・新聞・小説・エッセイなど） 日本語で様々な文章を書くことができる。（自己紹介・必要書類・レポート・エッセイ） 日本語（口頭）で様々なことが表現でき、様々なことを理解できる。 日本語によるスピーチコンテストに出場し、優勝する。 日本語能力検定試験に合格する（1 級・2 級） 日本語の新聞が読めるようになる。 漢字の読み書きが中学卒業程度、または高校 1 年生レベルになる。 日本語で考える。</p>		
<p>〔評価割合〕 定期試験成績（70％）に漢字の小テスト(10％)・本文の要約・作文(10％)・スピーチ(10％)を含めて総合評価する。</p>		

授業計画

	週	授業内容・方法	到達目標	自己評価*
前期	1 週	ガイダンス／一二人称	授業の進め方／多数ある二人称の違いを理解できる。	
	2 週	二「が」と「は」	主語を表す「が」と、話題の取り立て「は」を区別できる。	
	3 週	三「涼しい」	相対的感覚的な語「涼しい」の使い方を理解できる。	
	4 週	四「こそあど」の原理	「こそあど」の距離と感情移入の原理を理解できる。	
	5 週	五「敬語の使い方」	尊敬語・謙譲語・丁寧語の区別と使い方を理解できる。	
	6 週	六「言葉の感じ」	和語と漢語の感じの違いを理解できる。	
	7 週	前期中間試験	授業内容を理解し、正しく解答できる。	
	8 週	試験返却と解説・七「鯉」	試験の解説・鯉が季節によって移動する理由を理解できる。	
	9 週	八「大陸は動く」	大昔は一つにつながっていたことを理解できる。	
	10 週	九「砂漠」＋「黒四ダム」	大陸に砂漠ができる理由・黒四ダムの大工事を理解できる。	
	11 週	十一「南極の氷」	南極の氷を調査してわかることを理解できる。	
	12 週	十二「またとない天敵」	ヒキガエルの生態を理解できる。	
	13 週	十三「貝塚が教える謎」	貝塚の分布から見えてくるものを理解できる。	
	14 週	十四「眠りについて」	眠りとは何かを理解できる。	
	15 週	前期末試験	授業内容を理解し、正しく解答することができる。	
	16 週	試験返却と解説・十五	試験の解説、復習・微生物活動の防止を理解できる。	
後期	1 週	十六・十七	コミュニケーションの拡大・人間の「考える」を理解できる。	
	2 週	十八・十九	アドベンチャー・人類文明の発掘の魅力を理解できる。	
	3 週	二〇・二一	公共物を大切さ・人間に必要な自然を理解できる。	
	4 週	二二・二三	映像のすばらしさ・チームワークの本当の意味を理解できる。	
	5 週	二四・二五	気持ちのよい対話・科学技術複合体を理解できる。	
	6 週	二六・二七	帆のついたスクリー船・燃料消費と材料の削減を理解できる。	
	7 週	後期中間試験	授業内容を理解し、正しく解答することができる。	
	8 週	試験返却と解説・二八	試験の解説と復習・天気の種類を理解できる。	
	9 週	二九・三〇	遺伝子操作技術・水鳥の眼と翼の仕組みを理解できる。	
	10 週	三一・三二	雷被害の避け方・生きて行く基本条件を理解できる。	
	11 週	三三・三四	フロンガスの環境破壊・様々な意味を表す「手」を理解できる。	
	12 週	三五・三六	「申す」と「言う」の違い・遊びは環境適応能力を育むを理解できる。	
	13 週	三七・三八	数字への意味付けと言魂思想・日本人のあいさつを理解できる。	
	14 週	三九・四十	西欧に追従する日本人・日本人の美意識を理解できる。	
	15 週	学年末試験	授業内容を理解し、正しく解答することができる。	
	16 週	試験返却と解説	試験問題を見直し、理解できていない部分を復習する。	

* 4：完全に達成した， 3：ほぼ達成した， 2：やや達成できた， 1：ほとんど達成できなかった， 0：まったく達成できなかった。